

8 安全教育の計画例

1 幼稚園

(1) 教育課程と安全教育

学校教育法には、「健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。」(学校教育法第23条第1項)と幼稚園で行う安全教育の目標が示されている。また、幼稚園教育要領(平成29年3月)の第1章 総則 第2の3(1)では、「幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。」とされ、領域「健康」のねらいとして、「健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。」ことが挙げられている。

(2) 幼稚園教育要領解説

幼稚園教育要領解説(平成30年2月)には、「安全上の配慮」の中で、「幼児が自分で状況に応じて機敏に体を動かし、危険を回避するようになるためには、日常の生活の中で十分に体を動かして遊ぶことを通して、その中で危険な場所、事物、状況などが分かったり、そのときにどうしたらよいかを体験を通して学びとっていくことが大切」と示され、幼児自身が危険を予測し、回避する能力を身に付けることで安全な生活を送ることができるよう指導することとしている。

幼稚園教育要領解説(平成30年2月)

第1章 総説 第3節 教育課程の役割と編成等 4 教育課程の編成上の留意事項 (3) 安全上の配慮

(3) 幼稚園生活が幼児にとって安全なものとなるよう、教職員による協力体制の下、幼児の主体的な活動を大切にしつつ、園庭や園舎などの環境の配慮や指導の工夫を行うこと。

幼児が自分で状況に応じて機敏に体を動かし、危険を回避するようになるためには、日常の生活の中で十分に体を動かして遊ぶことを通して、その中で危険な場所、事物、状況などが分かたり、そのときにどうしたらよいかを体験を通して学びとっていくことが大切である。

幼稚園教育要領解説(平成30年2月) 第2章 ねらい及び内容 第2節 各領域に示す事項 1 心身の健康に関する領域「健康」[内容の取扱い]

(6) 安全に関する指導に当たっては、情緒の安定を図り、遊びを通して安全についての構えを身に付け、危険な場所や事物などが分かり、安全についての理解を深めるようにすること。また、交通安全の習慣を身に付けるようにするとともに、避難訓練などを通して、災害などの緊急時に適切な行動がとれるようにすること。

幼児は園の中で安心して伸び伸びと全身を使って遊ぶ中で、教師からの安全について気付くような適切な働き掛けの下、安全についての構えを身に付けることができるようになっていく。安全についての構えを身に付けるとは、幼児が自分で状況に応じて機敏に体を動かし、危険を回避するようになることであり、安全な方法で行動をとうとうとするようになることである。幼児は、日常の生活の中で十分に体を動かして遊ぶことを楽しみ、その中で危険な場所、事物、状況などを知ったり、そのときにどうしたらよいか体験を通して身に付けていく。安全を気にするあまり過保護や過介入になってしまえば、かえって幼児に危険を避ける能力が育たず、けがが多くなる可能性があるということにも留意することが必要である。幼児の事故は情緒の安定と関係が深いので、教師や友達と温かいつながりを持ち、安定した情緒の下で幼稚園生活が展開されていることが大切である。

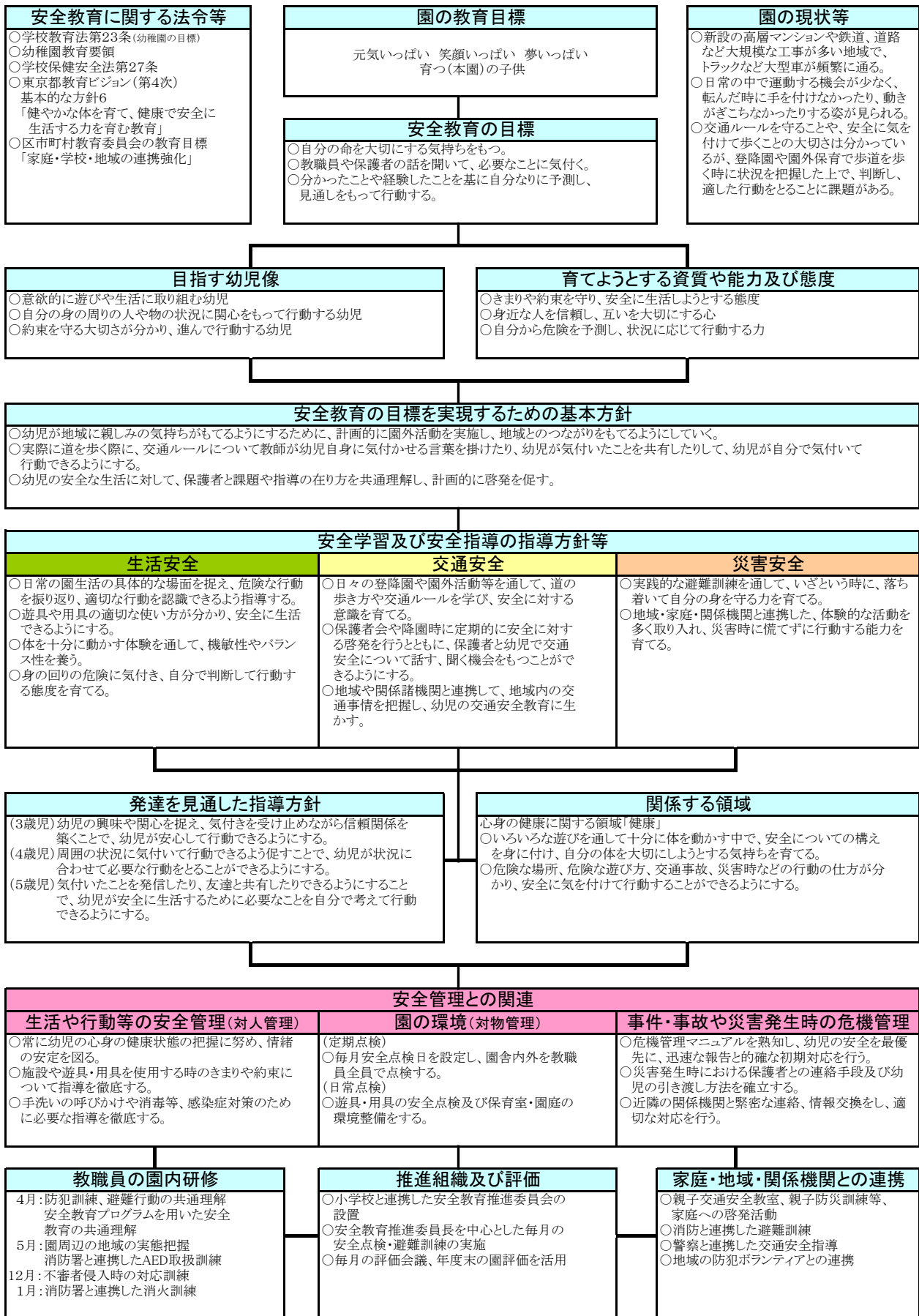
幼稚園生活の中では安全を確保するために、場合によっては、厳しく指示したり、注意したりすることも必要である。その際、幼児自身が何をしてはいけないか、なぜしてはいけないかを考えるようにすることも大切である。

交通安全の習慣を身に付けさせるために、教師は日常の生活を通して、交通上のきまりに関心をもたせるとともに、家庭と連携を図りながら適切な指導を具体的な体験を通して繰り返し行うことが必要である。また、地域にある道路や横断歩道の映像などの視覚教材を活用した指導や、警察などの専門機関の協力を得た模擬訓練などの指導の工夫が考えられる。

さらに、災害時の行動の仕方や不審者との遭遇など様々な犯罪から身を守る対処の仕方を身に付けさせるためには、幼児の発達の実情に応じて、基本的な対処の方法を確実に伝える必要がある。

特に、火事や地震等の自然災害を想定した避難訓練は、災害時には教師の下でその指示に従い、一人一人が落ち着いた行動がとれるように、避難訓練を行うことが重要である。また、避難訓練は、非常時に教職員が落ち着いて現状を把握、判断し、幼児を避難誘導できるかの訓練であることも自覚して行うことが重要である。

(3) 安全教育的の全体計画



学校における安全教育的プログラム
安全教育的に身に付ける力
安全教育的の3領域
必ず指導する基本的事項
安全教育的の確実な実施のために
安全教育的の計画
安全教育的の評価
安全教育的の計画例

実践編

実践事例
生活安全における実践事例
交通安全における実践事例
災害安全における実践事例
一声事例
（校種別）

資料編

理論編

(4) 安全教育の年間指導計画

※番号の意味は、P.9を参照

		4月	5月	6月	7月	9月			
発達の見通し		園生活の過ごし方や必要なまじりが分かる時期			園生活に慣れ、自分たちで行動しようとする中でまじりを守る必要性を感じる時期				
I 生活安全	全体	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な登降園の仕方を知る。1-①③ ○安全な生活のまじりを知る。2-②~④ ・園内の遊具、用具、施設等の安全な使い方を確認する。 ・行ってはいけない場所の確認をする。 ○安全な遊具や用具の使い方を知る。2-③ ・保育室の遊具や用具の安全な扱い方を知る。 ◆(5)新しい環境の安全な過ごし方を知る。2-②~④ ・大型積木、巧技台など大型遊具の安全な扱い方を知る。 ○健康で安全な生活の仕方を知る。2-①② ♥手洗いうがいを丁寧にする。 ♥マスクの必要性が分かる。 			<ul style="list-style-type: none"> ○雨の日の過ごし方を知る。2-①~④ ・室内を走らない。 ・室内の過ごし方を知る。 ・廊下の歩き方を知る。 ・傘やレインコートの扱い方を確認する。 ○プール遊びや水遊びの安全な遊び方を知る。2-①~④ ・安全な遊び方や行動の仕方を知る。 ♥着替えの場を学級ごとに分ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ○夏の安全で健康な生活の仕方を知る。2-① ・水分補給をする。 ・衣服の調整の仕方を知る。 ○プール遊びや水遊びの約束を守って遊ぶ。2-①~④ ・安全な遊び方や行動の仕方を確認する。 ♥着替えの場を学級ごとに分ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ○安全な園生活の仕方を思い出して守って過ごす。2-①~④ ・身の回りの整理をする。 ・園庭での遊び方を確認する。 ・用具、遊具の適切で安全な使い方を確認する。
	長期休業に向けて					<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みの安全な過ごし方を知る。3-③~⑤、4-①③⑧ ・「いかのおすし」の約束やエレベーターの乗り方を知る。 ・家庭での安全な過ごし方を知る。 ・水の事故について知る。 			
II 交通安全	全体	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な登降園の仕方を知る。1-① ・保護者と手をつないで歩く。 ・通園経路中の危険箇所を知る。 ◆(4・5)安全な登降園をする。1-① ○道路の正しい歩き方、信号の見方を知る。1-③④ ・安全な歩き方を知る。 			<ul style="list-style-type: none"> ○雨の日の正しい歩き方、雨具の扱い方を知り、安全に行動する。1-①②⑤ ・雨の日の歩き方を知る。 ・雨具の扱い方を知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な交通安全のルールを知り、守って歩く。1-①~④ ・左右の確認をする。 ・手を上げて横断歩道を渡る。 ・信号の確認をする。 ○夏休みに向けて親子で交通安全の約束を確認する。1-①③~⑤⑩ 		<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全のルールを守って行動する。1-①~④⑦ ・安全な登降園の仕方を確認する。
	園外活動		<ul style="list-style-type: none"> ◆(4・5)園外活動のまじりや行動の仕方を知る。1-①⑦⑩ ・道路や公共交通手段を利用した行動の仕方を知る。 ◆(4・5)集団行動のまじりや行動の仕方を知る。1-①⑦ ・前の人と間をあけず、集合の合図を聞いて集まる。 ・安全な乗降の仕方や過ごし方の約束を守る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○集団行動のまじりやバスの安全な利用の仕方、公共の場所での過ごし方を知る。1-①~③⑦ ・公共施設での安全な過ごし方を知る。 ♥マスクの着用と、乗車時には消毒をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○園外へ移動するときの安全な歩き方が分かり、行動する。1-①③④⑦ ・集団で横断歩道を横断する時の歩き方が分かる。 			
III 災害安全		<ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練時の基本的な行動の仕方を確認し、行動する。2-②~④ ・防災ヘルメットのかぶり方を知る。 ・「おかしも」の約束を守る。 ◆(3)避難訓練の意味を知る。2-② ♥毎月の訓練終了後、防災ヘルメットを消毒する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地震発生時の身の守り方が分かり、速やかに行動する。 ・自分で身を守り、近くの先生の指示を聞いて行動する。2-②~④ 	<ul style="list-style-type: none"> ○火災発生時の身の守り方を確認し、教師の指示を聞いて行動する。1-①~③ ・火災を想定し、ハンカチで鼻や口を覆う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○水遊び中の身の守り方を知る。1-①③ ・プールから出て安全な場所に避難する。 ○「南海トラフ地震関連情報」発信時の行動の仕方を確認し、行動する。2-①②⑤ ・各保育室で保護者の迎えが来るまで待機する。 ◆(5)自分の家の中の安全な場所を考える。2-⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急地震速報発令時、津波警報発令時の身の守り方を確認し、行動する。2-①~④、4-①⑥ ・非常時の合図や放送を静かに聞く。 ・避難場所(4階)に避難する。 			
	想定	地震(集合時)	地震(集合時)	火災(集合時)	火災(プールでの水遊び) 地震(集合時、引き渡し)	地震・津波(集合時)			
	予告	あり	あり	あり	あり	あり			
教職員の研修等	<ul style="list-style-type: none"> ○園舎内外の施設・遊具・用具の安全点検(毎月) ○緊急事態発生時の連絡や対応の仕方の共通理解 ○非常設備点検 ○安全教育プログラムを用いた安全教育の共通理解 ○園外保育、遠足の实地踏査 	<ul style="list-style-type: none"> ○遠足の实地踏査 ○救急救命講習(AED取扱訓練) ○公共の場を安全に利用するための指導の共通理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○プールの水質管理 ○水遊びの遊具、用具、場の設定の安全点検 ○雨天時の園舎内外安全点検 ○バスを使用する際の事前指導・实地指導の共通理解 ○公共の場を安全に利用するための指導の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○新学期前の園舎内外の安全点検、遊具・用具の安全点検(8月) ○遠足の实地踏査(8月) ○学校安全教室指導者講習 	<ul style="list-style-type: none"> ○暴風雨に向けての対応、点検 ○遠足の实地踏査 				
保護者や地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○登降園時の安全指導(保護者会) ○緊急情報メールの登録の啓発と配信訓練 ○春の全国交通安全運動の啓発 ○自転車通園の約束確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○親子で实地歩行訓練(4・5歳児親子散歩) 		<ul style="list-style-type: none"> ○夏休業中の安全指導(保護者会・資料配付) ♥学年別、短時間での実施。席の間隔を空けることで密を防ぐ ○地域と連携した夏まつりの見守りと安全対策 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時引き渡し訓練 ○災害備蓄品に関する情報共有 ○家庭での災害時による備えの啓発活動 ○秋の全国交通安全運動の啓発 				

学校における
安全教育と
プログラム

安全教育で
身に付ける力

3領域
安全教育の
基本的事項

必ず指導する
安全
教育の
実践的な実施の
ために

安全
教育の
計画

安全
教育の
評価

安全
教育の
計画例

実践事例
一覽

生活安全に
おける
実践事例

交通安全に
おける
実践事例

災害安全に
おける
実践事例

一
声事例
(校種別)

○共通のねらい・指導内容 ◆学年に特記したねらい(数字が該当学年) ♥感染症対策

10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>行動範囲や経験が広がり、様々な場面で状況に応じた行動を知っていく時期</p>			<p>活動に見通しをもち、自分から気付いたり考えたりしながら行動をするようになる時期</p>		
<p>○体を十分に動かし、敏捷性やバランス感覚を養う。2-①～③ ○多様な動きの経験をする。 ○併設する小学校の体育館や校庭を使うときの約束やマナーなどを教える。2-③④ ○状況を判断し、安全に遊ぶ。2-③④ ○運動用具を正しく扱う。 ○周囲の様子を見ながら安全に遊ぼうとする。</p>	<p>○健康で安全な生活の仕方を意識する。2-① ♥手洗いやうがいをする必要性を感じて取り組む。 ○自分の身の回りを自分で整えながら生活する意識をもつ。</p>	<p>○冬の安全で健康な生活について知る。2-① ・上着のチャックを閉める。 ♥手洗いやうがいを自分からする。 ・寒さに負けずに戸外で体を動かして遊ぶ。 ○不審者が侵入した時の避難の仕方を教える。2-⑤⑥ ・緊急放送の合図を知る。</p>	<p>○安全な遊び方や生活の仕方について再確認し、守って行動する。2-①～④ ・遊具を丁寧に扱う。 ・用具を安全に正しく使う。 ・廊下は走らない。</p>	<p>○寒い日や雪の日の生活の仕方が分かり、安全に生活する。2-①④ ・気温の低い時は路面が凍結したり、降雪時は地面が滑りやすくなったりすることを知る。</p>	<p>○進学、進級することに期待をもち、自分から安全に生活する。2-① ・生活の場を自分たちで整える。 ◆(5)就学に向けて、安全な生活の仕方を確認する。 ・就学して登下校する際、困ったときは地域の人に助けを求めるとよいことが分かる。 1-③、4-①②④</p>
		<p>○冬休みの安全な過ごし方を知る。3-③～⑤、4-①③ ・「いかのおすし」の約束やエレベーターの乗り方を確認する。 ・周りから見えにくい場所の危険について知る。</p>			<p>○春休みの安全な過ごし方を知る。3-③～⑤、4-①③ ・「いかのおすし」の約束やエレベーターの乗り方を確認する。 ・周りから見えにくい場所の危険について知る。</p>
<p>○安全な集団歩行や集団行動の決まりを守って行動する。1-①⑦ ・集団歩行の仕方を教える。</p>	<p>○交通安全のルールや集団行動の約束を守り、安全に行動する。1-①⑦ ・横断歩道の渡り方を確認する。1-③④</p>	<p>○安全に気を付けて正しい姿勢で歩く。1-⑤ ・前を向いて歩く。 ○親子で交通安全のルールを守って、冬休みを安全に過ごす。1-①③～⑤ ・保護者と手を繋いで歩く。 ・飛び出さない。</p>	<p>○寒い日の安全な歩き方が分かり、気を付ける。1-⑤ ・前を向いて歩く。 ・上着のチャックを閉める。</p>	<p>○寒い日や雪の日の登降園の仕方、歩き方を知る。1-⑤ ・凍って滑りやすくなっていることに注意し、安全に気を付けて歩く。 ◆就学する学校までの通学路が分かり、自分で安全を意識して歩く。1-①～④</p>	<p>○交通安全に関心をもち、守ろうとする。 ○新年度に向けて、安全に遊ぶための約束を確認し、意識をもって進級、進学ができるようにする。 1-①～④ ○交通安全のルールについて確認し、春休みを安全に過ごす。 1-①③～⑤ ◆(5)交通安全についての心構えをもち、自分で判断し守って行動する。1-①～④⑦</p>
<p>◆(5)集団での安全な歩き方や状況に応じた行動の仕方が分かる。1-①～④⑦ ・交通量の多い場所、工事現場、駐車場の出入りに気を付ける。</p>	<p>◆(5)自分で安全を確認する意識をもつ。1-①～④⑦ ・信号を自分で見る。 ・車や人の動きを見る。</p>	<p>◆(4・5)バスの中での安全な過ごし方やマナーを守って行動する。1-⑩⑦ ♥マスクの着用と、乗車する時には消毒をする。</p>	<p>○園や家庭の周辺の道路について危険箇所を知り、安全な歩き方を守って歩く。 1-①～④⑦</p>		
<p>○地震、火災発生時の行動の仕方が分かり、速やかに行動する。1-①～③、2-②③ ○身の安全を優先してすぐに避難する。 ・靴を履き、遊具は置いて避難する。</p>	<p>○火災発生時の身の守り方が分かり、速やかに行動する。1-①～③ ・近くの先生の指示を聞いて行動する。</p>	<p>○地震発生時の身の守り方が分かり、速やかに行動する。 ・自分で身を守り、近くの先生の指示を聞いて行動する。 2-②～④</p>	<p>○予告なしの状況で教師の指示や放送を聞いて行動する。 ○二次避難の方法を知る。 1-①～③</p>	<p>○教師の指示や放送を聞いて行動する。2-①～④ ○預かり保育担当の先生などの指示や放送を聞いて行動する。 1-①～③、2-①～④</p>	<p>○地震・火災発生時に自分の身を自分で守る大切さが分かり、考えて行動する。 1-①～③、2-①～④</p>
<p>地震・火災・停電(好きな遊び)Jアラート</p>	<p>火災(学級ごとに異なる場所での一斉活動)</p>	<p>地震(好きな遊び)</p>	<p>火災(好きな遊び)</p>	<p>地震(弁当) 地震・火災(園庭開放、預かり保育、管理職不在時)</p>	<p>地震・火災(好きな遊び)</p>
<p>ありあり</p>	<p>あり</p>	<p>なし</p>	<p>なし</p>	<p>ありあり</p>	<p>なし</p>
<p>○バスを使用する際の事前指導・実地指導の確認 ○公共の場を安全に利用するための指導の確認</p>	<p>○公共の場を安全に利用するための指導の確認 ○感染症への対応確認 ○これまでの避難訓練の評価と改善</p>	<p>○暖房器具の点検 ○室内の換気、温度、湿度の調整 ○園外活動の実地踏査 ○不審者侵入時の対応訓練(ネットランチャー、学校110番)</p>	<p>○降雪時の対応確認 ○バスを安全に利用するための事前指導・実地指導の確認 ○公共の場を安全に利用するための指導の確認 ○消防署と連携し、消火訓練の実施</p>	<p>○寒い時期に安全に生活できる環境設定 ○警察と連携し、歩道及び横断歩道の歩行訓練の実施 ○管理職不在時の対応訓練</p>	<p>○年度末の反省と次年度計画</p>
<p>○地域防災訓練参加の啓発 ○親子で実地歩行訓練(3歳児親子散歩)</p>		<p>○冬季休業中の安全指導(保護者会・資料配付) ♥学年別、短時間での実施。席の間隔を空けることで密を防ぐ</p>		<p>○不審者に対する親子安全講習会の実施(5歳児保護者) ○就学先の通学路の安全確認の啓発(5歳児保護者)</p>	<p>○就学先の通学路の安全確認の啓発(5歳児保護者) ○春季休業中の安全指導(保護者会・資料配付) ♥学年別、短時間での実施。席の間隔を空けることで密を防ぐ</p>